

教科	社会科	学年	3 年
----	-----	----	-----

(令和 7 年度)

【教科の目標】

社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。

【使用教材・副教材、使用教室・指導形態】

- ◇歴史教科書（東京書籍）、3 観点評価チェック 1 5 分（明治図書）
- ◇公民教科書（帝国書院）
- ◇共通：3 年間の整理と総復習社会（とうほう）
- ◇一斉授業

【評価の観点と資料】

観 点	評 価 規 準	評 価 資 料
知識・技能	社会的事象に関する有用な情報を適切に選択して活用するとともに、追及し考察した過程や結果を適切に表現している。社会的事象の意義や特色、相互の関係を理解し、その知識を身につけている。	◇定期考査 ◇小テスト
社会的思考・判断・表現	社会的事象から問題を見だし、社会的事象の意義や特色、相互の関連を多面的・多角的に考察し、社会の変化をふまえて公正に判断している。また考察・判断した過程や結果を適切に表現している。	◇定期考査（主に論述問題） ◇宿題（税の作文等） ◇レポート
関心・意欲・態度	社会的事象に対する関心を深め、それを意欲的に追求し、より良い社会を考え、自覚を持って責任を果たそうとしている。	◇定期考査（主にニュース） ◇授業への取組（発言等） ◇宿題・ノート等提出物

【授業の進め方と学習のポイント】

- ① 日頃から忘れ物をせず、宿題などの提出物は、必ず提出期限を守る。
- ② 授業は受け身でなく、問いかけに反応したり、発言するなど積極的に参加する。
- ③ 単元の問いや、それを追究するためのテーマを意識し、調べ、スライドにまとめることができるようにする。そして、調べたりまとめたりする学習から、単元の問いに対して様々な視点や角度から考えて自分の意見を表現できるようにする。

【家庭学習のポイント】

- ① 日頃から新聞やテレビ番組などでニュースに親しむ。特に地理ではニュースで出た地名を地図帳で調べる習慣を付けると良い。
- ② 副教材等を活用して学習した問題は、答え合わせをしっかりと行い、特に間違えた箇所をはっきりさせる。（できなかった、間違えた部分は消さずに赤で直す）
- ③ テスト前は、副教材で学習したことや小テストの問題を繰り返し解く。そして、調べ学習のまとめのポイントを教科書等で確認する。
- ④ 副教材「3 年間の整理と総復習社会」で、地理・歴史の復習をして定期考査や入試に備える。

【年間指導計画〔歴史的分野〕、年間35時間】

月	時間	単元名	主に学習すること	学習のねらい
4・5月	8時間	【歴史的分野】 第6章 1節 第一次世界大戦と日本 2節 大正デモクラシーの時代	◇第一次世界大戦の特徴とロシア革命 ◇国際協調の高まりとアジアの民族運動 ◇大正デモクラシーと社会運動 ◇大正時代の文化の特徴	◇第一次世界大戦の背景と特徴を理解する。 ◇第一次世界大戦後の国際協調やアジアで反帝国主義の動きが見られたことを理解する。 ◇大正時代の歴史が、民衆中心の時代であることを捉える。
6月	5時間	3節 世界恐慌と日本の中国侵略	◇世界恐慌とその後の影響 例) ・ブロック経済 ・ニューディール ・ファシズム	◇世界恐慌の背景と各国の対応について理解する。 ◇日本のファシズムの特徴について、満州事変や軍部の台頭を例にして考える。
7月	4時間	4節 第二次世界大戦と日本	◇第二次世界大戦のはじまり ◇戦時下の生活 ◇第二次世界大戦の終結	◇第二次世界大戦とその背景について理解する。 ◇戦時下の生活と私たちの生活を比較し、戦争と民衆について関心を高める。 ◇現代社会でなぜ平和が求められているかについて考える。
9月	4時間	第7章 1節 戦後日本の出発 2節 冷戦と日本の発展	◇民主化と日本国憲法	◇日本の民主化について、日本国憲法の三大原理や教育基本法の成立、財閥解体などを事例にして理解する。
10・11・12月	8時間		◇冷戦の開始と日本の独立 ◇日本の高度経済成長	◇現代の政治・経済が、冷戦の終結や高度経済成長の上で成り立っていることを捉える。 ◇高度経済成長と私たちの生活の関わりについて考える。
1・2月	4時間	3節 新たな時代の日本と世界	◇平成時代の歴史（バブル崩壊後の日本、9・11後の世界、東日本大震災と日本）	◇私たちの生活と平成時代のできごとの関わりについて考える。
3月	2時間	歴史的分野の構想	歴史的分野のまとめ	◇歴史的分野の時代の変化について考え、より良い社会を構築するために、私たちは何ができるかについて考えをまとめる。

【年間指導計画〔地理的分野→公民的分野〕、年間 105 時間）】

月	時間	単元名	主に学習すること	学習のねらい
4・5・6月	8時間 12時間	【地理的分野】 第4章 地域の在り方 【公民的分野】 1編 私たちと現代社会 1 現代社会の 特色 2 現代社会の文化 3 現代社会の見方 ・考え方	◇中央区の地域の課題発見とその解決方法 ◇情報化、グローバル化、少子高齢化の内容と課題 ◇日本の伝統文化や新しい文化 ◇対立と合意、効率と公正の概念について	◇中央区の地域の課題を見だし、より良い地域にするための解決方法について提言できる。 ◇少子高齢化、情報化、グローバル化について理解し、私たちの生活とこれらがどのように関わっているかについて考える。 ◇日本の伝統文化や新しい文化の特徴を理解し、私たちの生活とのつながりや、文化をより良いものにしていくための方策について考える。 ◇対立と合意、効率と公正の概念が、私たちの生活場面でどのように利用されているかを理解する。
7・9月	8時間	【公民的分野】 第2編 私たちの生活と政治 第1章 個人の尊重と日本国憲法	◇法に基づく政治と日本国憲法 ◇日本国憲法と基本的人権 ◇日本の平和主義	◇人権思想の成立と発展が、私たちの人権の基礎になっていることを理解する。 ◇基本的人権の保障について、私たちの生活と関わらせて考える。 ◇現代の政治と平和憲法や日本の防衛問題の関わりについて考える。
10月	12時間			
11月	12時間	第2編 私たちの生活と政治 日本の政治 第2章 国民主権と日本の政治	◇民主政治と政治参加 ◇くらしを支える地方自治 ◇国の政治のしくみ	◇民主主義を理解するために、政治参加や選挙制度の在り方を考える。 ◇地方自治のしくみと地方分権の動きについて理解する。 ◇三権分立の働きと、国会・内閣・裁判所の関わりについて理解する。
12月	14時間	第3編 私たちの生活と経済	◇消費生活と経済のしくみ ◇生産の場としての企業 ◇金融のしくみとお金の価値 ◇財政と国民の福祉	◇経済に親しみ、商品の選択について、いくつかの身近な事例をもとに考える。 ◇流通のしくみや商品の価格の決まり方について調べる。 ◇市場経済の基本的な考え方を理解する。 ◇生活活動のしくみや企業の役割を考える。 ◇金融のはたらきと役割を考える。 ◇財政のはたらきや税のしくみについて考える。 ◇国民生活と福祉の向上のため、国や地方公共団体の果たす役割を理解し、今後の課題を考える。
1月	14時間			
2月	8時間	第4編 私たちと国際社会	◇国家と国際社会 ◇国際社会の課題と私たちの取り組み	◇国連の活動や多様化する世界の諸問題について理解し、日本の国際貢献について考える ◇資源・エネルギー、人口や食料の問題、地球環境等、現在地球規模で考えるべき問題について関心をもって調べる。
3月	5時間	第5編 私たちの課題－持続可能な社会をめざして－	◇卒業論文	◇これからの社会をどんな社会にしたいかをテーマにし、レポートを作成する